

## 照葉樹林文化研究会 2012 in 東京・世田谷

「照葉樹林文化の要素としての癒し植物の文化多様性をめぐる研究」(サントリー文化財団助成)の研究会を日本雑草学会学術部会「雑草の福祉活用研究会」および科研費「東アジア原産観賞植物の栽培化と野生化に関する保全生物学的研究」の研究グループと合同開催しました。

2012年7月14日(土)の13時から17時の間に東京農業大学世田谷キャンパスの「食と農の博物館・研修室」で35名の参加があり、夕刻に食事会を開きました。

### 講演・研究発表会：

#### 1. 特別講演

●東アジア原産キク科観賞植物の多様性をめぐって イエギク・野生ギク・古典園芸植物を事例として

富山県立植物園 中田政司

#### 2. 講演発表(サントリー文化財団助成研究)

●照葉樹林帯の巨樹にまつわる精神文化—歴史的にみた巨木の“癒し”—

早稲田大学 児島恭子

●住まいの植栽、その樹種の選択と配置による吉凶—中国明代の『宅経』を通して—

大阪府立大学大学院 水野杏紀・平木康平

●研究フラッシュ

大阪府立大学 大形 徹 『莊子』にみえる植物—扶揺・冥霊・大椿・櫟などをめぐって  
大阪学院大学 竹井恵美子 ユーラシア古代の雑穀アカザについて

#### 3. 研究報告(雑草学会学術部会+科研)

●西南日本における墓花の多様性と教会ガーデニング

東京農業大学 山口裕文・玉木優作・宮浦理恵 大阪府立大学 大野朋子  
京都大学 梅本信也 新上五島町議 歌野 礼

●雑草の福祉活用の展開：ワイルドフラワーガーデニングと草遊びをめぐって

東京農業大学 櫻井翔真・宮浦理恵・山口裕文

#### 4. 出版企画 来年8月入稿へ向けて書籍仮題を決めて編者を開始します。

文責：東京農業大学バイオセラピー学科 山口裕文 h4yamagu@nodai.ac.jp